

青島日本人学校 オンライン授業に 向けての取組



1. はじめに

青島日本人学校では、休校期間が長引くための児童生徒の不安の解消、学習面のサポートとして、2月後半よりzoomアプリを利用した学級交流を行ってきました。

その後、次第に回数を増やし、内容も学習のサポートをメインとしたものに変えていき、段階を踏まえながらオンライン授業の実施まで行うことができました。

今後も児童生徒の学習の機会を保障する場として、有効に活用したいと考えています。

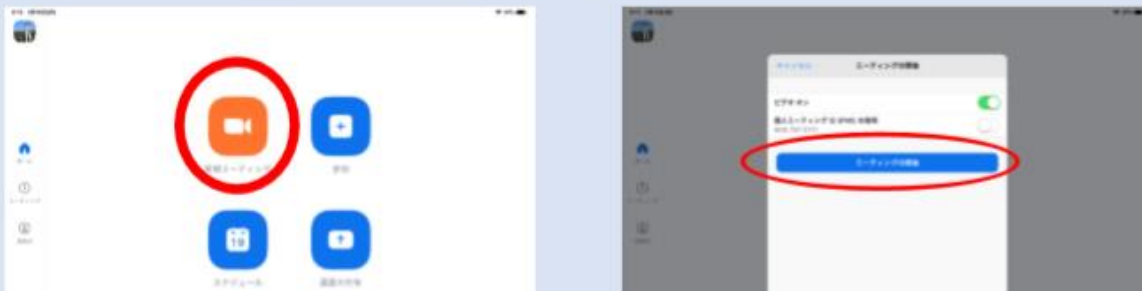
2. 職員研修

(ミーティングの方法)

① 「zoom」アプリを起動します。



② 「新規ミーティング」からミーティングを開始します。



・ 事前に職員でzoomの使い方について研修を行う

サインイン・アウトの仕方
ミーティングの開き方・閉じ方
待機室の設定の仕方
ホストの交代
画像共有の仕方
チャットの仕方

3. 2月の学級交流

青島日本人学校 配信による学級交流スケジュール

	時 間	学年・担当	時 間	学年・担当	時 間	学年・担当	ID (会議室名)
1 8 (火) 配信テスト	1 年生 10:00～10:20		5 年生 10:40～11:00		中 3 11:20～11:40		
	2 年生 10:00～10:20				中 2 11:20～11:40		
	小 6 13:00～13:20						
	3 年生 10:00～10:20		4 年生 10:40～11:00		中 1 11:20～11:40		
1 9 (水)	10:00- 10:20	小 1	10:40- 11:00	小 5	13:00- 13:30	中 3	
2 0 (木)	10:00- 10:20	小 2	10:40- 11:00	小 6	13:00- 13:30	中 2	
2 1 (金)	10:00- 10:20	小 3	10:40- 11:00	小 4	13:00- 13:30	中 1	
2 5 (火)	10:00- 10:20	小 1	10:40- 11:00	小 5	13:00- 13:30	中 3	
2 6 (水)	10:00- 10:20	小 2	10:40- 11:00	小 6	13:00- 13:30	中 2	
2 7 (木)	10:00- 10:20	小 3	10:40- 11:00	小 4	13:00- 13:30	中 1	

- ・ 保護者向けの参加の手引きと交流スケジュールをHPに掲載
- ・ 配信テストを行い、参加希望の家庭がきちんと参加できるようサポート
- ・ 休校中の課題の解説や取り組んだことの発表を行う
- ・ 交流後の振り返りをレポートで提出。全体で共有する課題があれば全体連絡

<参加するにあたって各家庭へのお願い>

<iPhone,iPad でのダウンロードの方法>



①App Store で ZOOM Cloud Meetings のアプリをダウンロードします。

②アプリを開きます。

<アカウントを取得しないでミーティングに参加する方法>



①ホーム画面の「ミーティングに参加」をタップします。

- ・「参加の手引き」を利用したのアプリのダウンロード
- ・操作補助や学級交流中の見守りのお願い
- ・開始予定時刻の確認
- ・参加者名を見童生徒本人だとわかるものへの変更
- ・第三者へのIDの非公開の徹底
- ・肖像権保護のため、写真や動画の撮影の禁止
- ・周囲の環境への配慮

4. 3月の学級交流

		配信日	10:00-10:30	10:45-11:15	13:00-13:30	ID
3月3日	火	①	国／算 小1	国／算 小5	学活 中3	
			国／生 小2	算数 小6	理科 中2	
			国語 小3	算数 小4	国語 中1	
3月4日	水	②	音楽 小1	国／算 小5	学活 中3	
			国／生 小2	理科 小6	数学 中2	
			算数 小3	社会 小4	理科 中1	
3月5日	木	③	国／算 小1	理科 小5	学活 中3	
			音楽 小2	社会 小6	国語 中2	
			理／社 小3	国語 小4	数学 中1	
3月6日	金	④	国／算 小1	国／算 小5	学活 中3	
			国／生 小2	学活 小6	社会 中2	
			音楽 小3	理科 小4	英語 中1	
3月7日	土		卒業式			
3月10日	火	⑤	国／算 小1	国／算 小5		
			国／生 小2		英語 中2	
			算数 小3	国語 小4	社会 中1	
3月11日	水		修了式			※修了式後の学活は後日連絡

- ・ 毎日1コマの実施
- ・ 教科名を入れ、休校中の課題の解答・解説や未履修の内容の補充等を行う
- ・ 事前にHPで、内容や準備物等を連絡
- ・ 卒業証書授与、終了証授与もオンラインで実施

5. 4月のオンライン学習

<朝の全校体育> 4月13日(月)～4月17日(金) 9:30-9:45 担当: 					
ID 4 毎朝、簡単なストレッチや運動を行います。					
配信日		9:30 - 9:45	10:00-10:30	10:45-11:15	13:00-13:30
4月13日	月	全校体育 : 	小1国/算: 	小5国語: 	
			小2国/算: 	小6国語: 	中2英語:
			小3算数: 	小4理科: 	中1社会:
4月14日	火		小1音楽: 	小5英語: 	
			小2体育: 	小6算数: 	中2社会:
			小3英語: 	小4算数: 	中1英語:
4月15日	水		小1国/算: 	小5社会: 	
			小2音楽: 	小6英語: 	中2理科:
			小3理科: 	小4国語: 	中1数学:
4月16日	木		小1体育: 	小5算数: 	
			小2国/算: 	小6理科: 	中2数学:
			小3社会: 	小4社会: 	中1国語:
4月17日	金		小1国/算: 	小5理科: 	
			小2国/算: 	小6社会: 	中2国語:
			小3国語: 	小4英語: 	中1理科:

- ・運動不足解消のため、毎朝、全校体育の実施
- ・毎日1コマの学習
- ・新年度開始に向け、旧学年でのオンライン学習を行う
- ・教科名を入れ、休校中の課題の解答・解説や未履修の内容の補充等を行う
- ・学習内容や準備物はHPに掲載

＜全校体育の様子＞



- ・ 端末機器をテレビに接続し、児童生徒の様子を大きな画面でも確認
- ・ 体育主任が活動を中心に行い、操作補助を別の教員が担当
(入室の管理、音楽の再生)
- ・ ラジオ体操、体幹トレーニング、ヨガなど室内でできるトレーニングメニューを実施

6. 新年度のオンライン授業

配信日	学年	ID	1. 9:00-9:30	2.10:00-10:30	3.11:00-11:30	4.13:00-13:30	5.14:00-14:30
4月21日以降	小1	学年のIDを利用					
	小2～中3						

- ・小1は3コマ、小2～中3は5コマの実施
- ・日本にいる新派遣の先生方もオンラインで授業を行う
- ・学年ごとに授業内容や準備物を週予定としてHPに掲載
- ・9学年が同時に授業を行うので、ネット環境や端末機器の不足などで参加できない児童生徒がいないよう配慮を行う

<授業の様子>

授業予定（毎週末HPに掲載）

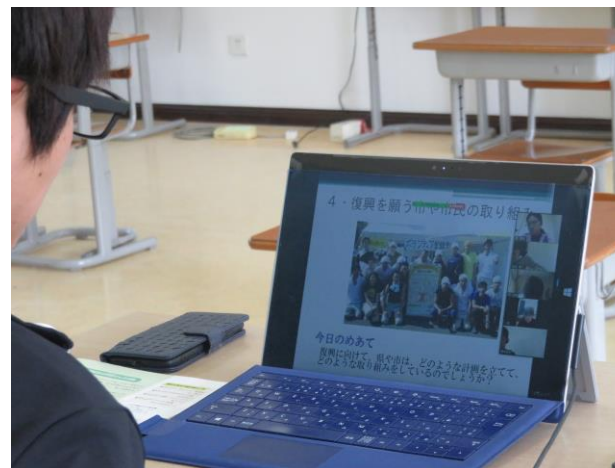
令和2年4月20日

小学部1年 オンライン授業の内容・準備物

小学部1年（学年ID: XXXXXXXXXX）

	1. 9:00-9:30	2. 10:00-10:30	3. 11:00-11:30	4. 13:00-13:30	5. 14:00-14:30
4月21日 (火)	せいかつ 「じこしょうかい」 「みんなとなかよくなりたいな」 ・きょうかしよ	おんがく ・「こうか」の れんしゅう ・きょうかしよ	こくご p 1～11 「いいんき」 「おはなし たのしいな」 ・きょうかしよ		
4月22日 (水)	こくご p 12, 13 「いいんき」 「あつまって はなそう」 ・きょうかしよ	せいかつ 「がっこうの いちにち」 「がっこうのなか をみにいこう」 ・きょうかしよ	さんすう p 2, 3 「おおいのは どちらかな」 「たりのかな」 ・きょうかしよ ・ふでぼこ		
4月23日 (木)	こくご p 14, 15 「えんぴつと なかよし」 ・きょうかしよ ・ふでぼこ ・のおと	たいいく 「かるいうんどう」 ・たおる ・うごきやすいふ くそう	さんすう p 4, 5 「たりのかな」 ・きょうかしよ ・さんすう ぼくす		
4月24日 (金)	ずこう 「おひさま」 ・えを かく かみ ・くれよん	こくご p 16～19 「どうぞ よろしく」 「なんて いおうかな」 ・きょうかしよ ・ふでぼこ ・のおと	さんすう p 6, 7 「おなじかずの なかまを さがそう」 ・きょうかしよ ・さんすう ぼくす		

小学部6年生：社会



パワーポイントで作成した資料を画面共有して授業を行っている。

途中で動画を見せ、学習内容の理解を深めている。

小学部2年生：音楽

実際にピアノで伴奏しながら、子どもたちと一緒に歌っている。

画面を共有して学習する部分と実際に活動する部分をわけ、学習を進めている。



7. 今後に向けて

<学校が再開し、一部の児童生徒が登校できるようになった場合>

- ・登校できる児童生徒は学校で授業を受け、その様子をオンラインで配信する。登校できない児童生徒は家庭でオンライン授業を受ける。
- ・新派遣の先生方の授業は、端末機器をテレビに接続し、児童生徒は学校または家庭でオンライン授業を受ける。

<安全にオンライン授業を実施できるために>

- ・保護者にオンライン授業を実施する上での注意点を再確認してもらう。
- ・児童生徒のネットリテラシー・ネットモラルの向上をはかる。
- ・教職員間でも子どもたちを守るための取組を研修する。

(待機室の設定、もしもの時のための対応)